

# 総力挙げて激戦突破を!

## 公明党瀬谷支部が盛大に時局講演会 神崎代表「かろう重雄の行動力に期待」



▲来る4月の統一地方選挙に向けてかろう重雄の応援に駆け付けた  
神崎代表 (H15.2.9)

公明党瀬谷支部の時局講演会が2月9日、瀬谷公会堂で盛大に開催されました。これには、神崎武法代表、上田勇衆院議員、かろう重雄市会議員が出席し、統一地方選挙の大勝利を訴えました。

神崎代表は、「4年前の統一選で、公明党が公約した「児童手当の対象拡大」や「奨学金制度の拡充」が実現したことを紹介した上で、統一選の意義について、「どの候補者が地域と住民の味方なのか問われる」と指摘。「実績のないことが唯一の実績」という政党や、国会議員を持たないために庶民の声が国政に届かない政党の候補者では、地方政

治を任せることができないとの考えを示して、「公明党こそ政策実現の党である」と強調しました。

また、神崎代表は、前回の統一選で初当選したかろう重雄が、わずか4年間で200を超える実績を積み重ねてきたことを高く評価。「素晴らしい行動力だ」と述べて大きな期待を寄せるとともに、政治家にとって2期目の挑戦が最も厳しい戦いになることに言及。「激戦突破へ公明党は総力を挙げて戦う」と訴え、かろう重雄勝利へ絶大な支援を呼び掛けました。

これに先立って挨拶したかろう重雄は、三ツ境駅や瀬谷駅のバリアフリー化、農薬散布のガイドライン策定などの実績を紹介しつつ、「この4年間で瀬谷は、ずいぶん変わったね」と言われることが議員としての最大の喜びであり誇りです」と強調。これからも「声を形に」との信念を貫くため、激戦突破に死に物狂いで戦っていくとの決意を表明しました。

このほか、上田衆院議員は、上瀬谷通信基地の返還交渉が始まったことに関連し、「日米安保反対の政党の主張に米国が耳を貸す訳がない」として、一部政党の実績横取りを厳しく批判。来賓として挨拶した瀬谷区障害者団体連絡協議会の渋谷敏雄会長は、バリアフリーの街づくりを真剣に取り組みかろう重雄の今後の飛躍に期待を寄せました。